

誰もが主役！

誰も取り残さない北区へ！

月100時間を超える残業。終電を逃し自腹のタクシー代で帰宅。それでも給料は手取り18万円。こんな働き方を経験して、矛盾に満ちた世の中を変えなければと決意しました。地元北区のために、全力を尽くして働きます！

秋山 けんたろう

あきやま 健太郎

34歳

党地区くらし相談員・社会保険労務士・区議予定候補

《略歴》 ● 1988年北区志茂生まれ ● 第二岩淵小、赤羽中、都立赤羽商業高、東洋大学卒 ● 会社員、フリーライターなどを経て社会保険労務士に ● 22年1月より党北地区委員会勤務員 ● 趣味はウォーキング、カラオケ、読書 ● 特技は計算、文章を書くこと

100年
1922-2022

日本共産党

このチラシに関するお問い合わせは ☎ 3906-2821 FAX 3906-3225

新しい北区

2022年10月号外 日本共産党北地区委員会は上記のお知らせを発表しました。
発行 / 新しい北区社 (北区中十条3-5-15)

さがら区議から
バトンタッチ

区民の願い区政へ。
秋山けんたろうさんにご支援をお願いします。

区議会議員
さがら としこ



夢と希望を持てる社会に

今の時代は、すべての世代の方にとって生きづらいのではないかと、私は感じています。

子どもたちは、コロナ禍がつづき、友達同士でふれあう楽しい思い出づくりの機会が極端に減ってしまっています。高校生になって進学を考える時期には学費の負担が。大学卒業と同時に求められる奨学金の返済は、20年かかるケースもあります。社会にできれば、高い保険料と税金、家賃負担がのしかかり、結婚や出産、マイホームを持つのも大変です。

社会保険労務士としての経験から、定年を迎えても年金受給額が少なく仕事をしないとやってゆけない方、コロナと物価高でたちまち営業も暮らしも立ちゆかなくなる方など、寄り添って相談をお受けする大切さを実感してきました。

これは、「自己責任」ですまされる問題ではありません。生活はすべて、政治に直結しています。政治が変われば、暮らしも変わります。日本共産党と一緒に、憲法を生かし、暮らしを大切にする政治に変えてゆきましょう。

私は、誰ひとりとして取り残さない社会をめざします。

秋山 けんたろう



お金の心配なく学べ暮らせる北区に

学校給食は無料に

北区では、第2子半額、第3子以降の無料化が実現。さらなる無償化の拡充をめざします。

補聴器購入補助を

23区内でもすでに16区が補助に踏み切っています。北区でも早期の実現を求めています。

私たちも一緒に **日本共産党**
がんばります **東京都 北区議員団**

